

南小たば風通信 2020

令和2年4月24日 第1号

1年間 よろしくお願ひします！

先日は、今年度の第1回目の校内研究日お疲れさまでした。今年度は、今まで南小で取り組んできた研究（ピクトグラム&教えて考えさせる授業）の実践の蓄積を生かしながら、子どもたちが「わかる」「できる」を実感できる授業を目指して頑張っていきましょう！先生方、どうぞよろしくお願ひします。

★今年度の研究主題★

「 単元を見通し、子どもたちが『わかる』『できる』が実感できる

算数科の授業づくりを目指して」

～つけたい力の明確化と子どもたちが主体となる授業～

※ご意見をいただき、若干変更した部分がありますのでご承知おきください。（網掛け部分）

(4) 研究仮説

①研究の仮説

- 1 単位時間の授業で「つけたい力」を明確にして指導者が適切に関わることで、子どもたちが主体的に学び、より確かな学力を身につけることができる。

②具体的な取組

学力の3つの要素がバランスよく育成

知識・技能

思考力・判断力・表現力

学びに向かう力・人間性等

【課題解決に向けた具体的な取り組み】

- ピクトグラムを活用した単元を見通した授業づくり
- 数学的な見方・考え方を働かせた授業づくり
- 学習意欲が増す教材教具の工夫（具体物・ICT活用）
- 一単位時間における「教えること」「考えさせること」の明確化
- 対話における指導者の適切な発問や資料提示の工夫
- 知識をもとにした応用・発展的な課題に協働的に取り組む「深化問題」の充実
- 本時の目標に準じた児童の学習の振り返りの工夫



※裏面へ続く

主体的・対話的で深い学びにより（ピクトグラム活用）

生きて働く知識・技能の習得 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成
学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養

【指導者の適切な関わり】

- 教えること、考えさせること、まとめることの明確化
- 子どもの姿や発言を丁寧にみる、聞く
- 子どもの思いや考えを理解する
- 本時のねらいとの関係を考える
- どのように関わるかを定める
- わかりやすく板書したり、端的に発問したりする



(5) 研究内容

1. 日常の算数の授業の改善と充実
2. ミニ研修（板書交流会）と授業研究（公開研究会をふくむ3回）
 - ※2ブロック（低学年・高学年）
 - ※単元の計画は早めに立てるようにする。なお、指導案検討（ブロック）は2週間前、ミニ研修（板書交流）は1週間前に行う。
 - ※授業交流については、略案で提出し授業を行う。全体研修は行わず、たば風通信で感想を交流する。
3. 図書室の算数コーナーの整備

☆たば風プロジェクト①・・・児童の実態把握

- ・5月と9月と2月に児童アンケートを実施し分析する。
- ・CRTの全校的な傾向をつかむ。
- ・単元末テスト・（全国学力・学習状況調査）の分析をする。※（ ）今年度の実施については未定

以後変更なし

今年度の公開研究会は9月3日（木）を予定しています。今回は、低学年ブロックから飯高先生、高学年ブロックから藤谷先生が授業を公開して下さることになりました。（指導主事訪問は、押見先生！ありがとうございます。）この先、どうなるのか???不安はつきませんが、計画をもって進めていきたいと思っておりますので、何かとご協力をよろしくお願いいたします。

<連絡>

- その1 5月27日（水）の研究日は、理論研修を行います。佐藤先生より、「教えて考えさせる」授業のノウハウを伝授していただく予定です。
- その2 3月に「研究のまとめ」は作成しません。研究部より配られたファイルに研究部通信や指導案などを綴っておいてください。